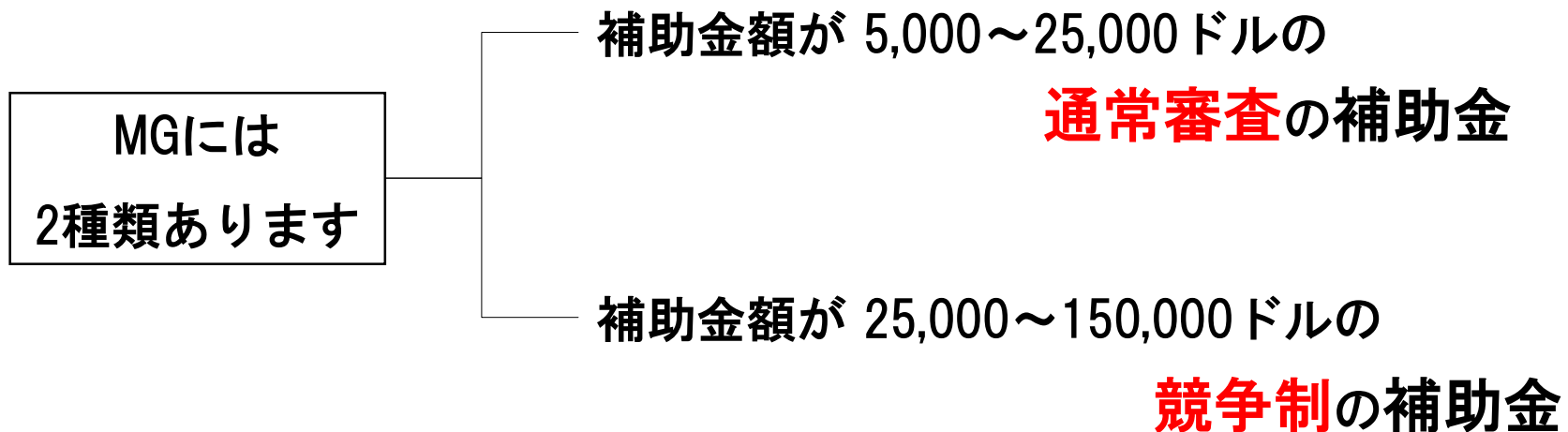

マッチング・グラント事例報告

2010年8月7日

京都ロータリークラブ

マッチング・グラント(MG)とは

2カ国のロータリークラブあるいは地区が協力して行う国際奉仕活動プロジェクトをロータリー財団が補助金を出して支援する仕組み。



◆MGの資格基準（プロジェクト・テーマの基準）

- ・ 地域社会に恩恵を与える人道的プロジェクト
- ・ ロータリアンが積極的に参加し、ロータリーのプロジェクトであることが目に見えて識別できるもの 等

◆MGの申請期間

7月1日～3月31日（通常のMG）

◆MGの資格審査

8月1日～5月15日（通常のMG）

MG # 71488 老人施設に送迎用自動車等を寄贈

◆MGの共同提唱者

実施国側・・・京都ロータリークラブ（R.I.第2650地区）
援助国側・・・漢陽ロータリークラブ（R.I.第3650地区）

◆プロジェクトの背景

在日韓国・朝鮮の高齢者の多くは日本の年金制度の狭間にあって老齢年金が支給されていない

◆プロジェクトの内容

厳しい暮らしを余儀なくされている方々のための老人施設を日本で4ヶ所の運営をしている社会福祉法人「心の家族」（理事長ユン・ギ氏）の老人施設「故郷の家 京都」に「老人送迎用リフト付自動車」等を寄贈するプロジェクト

◆ 2004～2005年度に実施

実施国・・・漢陽ロータリークラブ

援助国側・・・京都ロータリークラブ

◆ 2004年12月

韓国・慶州市近郊の「ナザレ園」に6,000ドル相当の
大型洗濯機・乾燥機・低周波治療器を寄付

「ナザレ園」とは戦前に韓国人男性と結婚した後、日本に帰ることが出来ずに年老いて身寄りのない日本人女性専用の老人施設で韓国のクリスチャンによって運営されている

◆寄贈品目

- ・ 昇降リフト付きワゴン型自動車 1台
- ・ 送迎用軽自動車 1台
- ・ 車載用ストレッチャー 1台

◆資金の分担

総計44,000ドル(4,300,000円)のプロジェクト

		分担額	分担比率
京都ロータリークラブ	実施国	2,000ドル	4.5%
漢陽ロータリークラブ	援助国	2,000ドル	4.5%
R. I. 第2650地区	実施国	19,000ドル	43.2%
R. I. 第2650地区	援助国	5,000ドル	11.4%
ロータリー財団		16,000ドル	36.4%
	合計	44,000ドル	

5. マッチング・グラントの申請から受理まで

R.I.第2650地区の財団補助金委員会 大塚委員長から有益なアドバイス



国際ロータリー 日本事務局財団室 片岡氏よりも有益なアドバイス



7月1日にMG申請書を R.I. 日本事務局に提出（日本語表記）



9月3日にロータリー財団よりに認可がおける（MG#71488）



10月にロータリー財団から入金

◆目録贈呈・・・2009年10月7日 例会日に実施

2009年10月7日（水）京都R.C.例会で、援助国協同提唱者の漢陽R.C.代表団（11名）を迎え、大韓民国在大阪総領事もご臨席、社会福祉法人心の家族老人施設「故郷の家 京都」理事長ユン・ギ氏に対し寄付車両の目録を贈呈。

◆贈呈式・・・2010年2月25日 実施

2010年2月25日（木）、「故郷の家 京都」において車両等の贈呈式を行う。京都R.C.から第2650地区富田ガバナー、千玄室R.I.元理事を始め18名、漢陽R.C.関係者が2名が参加。大韓民国在大阪総領事もご臨席。「故郷の家 京都」の入居者約200名も参加。

・ クラブのロータリー財団委員会の役割はお金を集めることだけではない



・ 集めた浄財を必要としている方々にいかに有効に寄付するかである



・ クラブの小額の寄付金を大きく増やせる制度

「マッチング・グラント」を大いに活用すべきである。





















